

からだ いた 身体の痛いのはどこ？

か らだ
 <身 体>

1



みぎて てのひら からだ まえ とけいまわ
 右手の掌を身体の前で時計回りに
 まわします。

いた
 <痛 い>

2



みぎて てのひら うえ む ゆび かる ま
 右手の掌を上に向け、指を軽く曲
 げ、軽く左右にふります。

3



かる ゆび ま みぎて てのひら した む
 軽く指を曲げた右手の掌を下に向
 け、少し下ろします。

ばしょ なに
 <どこ：場所+何>



みぎて ひと ゆび のぼ さゆう かい
 右手の人さし指を伸ばし、左右に2回ふります。



おなか^{いた}が痛いよ

<おなか>

1



みぎて ひと ゆび
右手の人さし指で、おなかを指さ
します。

<痛 い>

2



みぎて てのひら うえ む ゆび かる ま
右手の掌を上に向け、指を軽く曲
げ、軽く左右にふります。

からだ ちょうし ある とき しゅあ しゅ
体の調子^{ちょうし}が悪い^{わる}時の手話^{しゅあ}を調べて^{しら}みましょう。

たと わつ ひんけつ
例えば、「熱^{ねつ}がある」「けが」「かぜ」「貧血^{ひんけつ}」など。

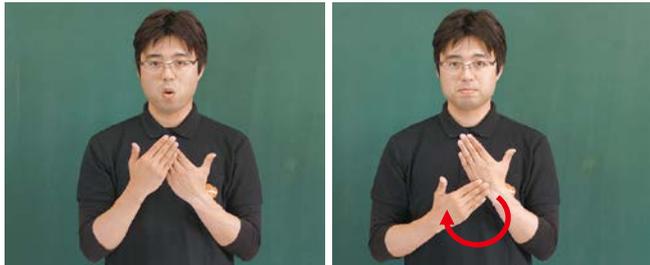
ほか かんけい ことば しゅ
その他、関係^{かんけい}する言葉^{ことば}も調べて^{しら}みましょう。

たと いしゃ びょういん かんごし
例えば、お医者^{いしゃ}さん、病院^{びょういん}、看護師^{かんごし}さんなど



保健室に一緒に行こう

1 <保健：心臓を守るという動作>



ひだりむね まえ ひだりて お ちか みぎて えん えが
 左胸の前に左手を置き、その近くで右手で円を描きます。

2 <室(部屋)：壁に囲まれた様子>



りょうて てのひら ぜんごきゆう しかく かこ
 両手の掌で前後左右に四角く囲みます。

<一緒に行こう>



りょうて ひと ゆび まえ の つぎ からだ ちゅうおう て なな まえ うご
 両手の人さし指を前に伸ばし、次に、体の中央でくっつけます。そして、くっつけた手を斜め前に動かします。

たす 助かるよ ありがとう

<たす 助けてもらう>

1



おやゆび た ひだりて にぎ
親指を立てた左手の握りこぶしを、



みぎて てのひら かる かい
右手の掌で軽く2回ふれます。

<ありがとう>

2



ひだりて こう うえ
左手の甲を上にして、



みぎて すいちよく あ えしゃく
右手を垂直に上げながら会釈します。

てつだ (助ける) と
「手伝う (助ける)」と
「助けてもらう」の
しゅわ あ
手話を合わせると

ここでは、「助けてもらう」
の手話を紹介しましたが、
手話ハンドブック (入門編)
28 ページでは、「手伝う
(助ける)」の手話を紹介し
ています。

おやゆび た ひだりて
親指を立てた左手はその
ままで、「手伝う (助ける)」
と「助けてもらう」の動作
を2回行くと、「助けあう」
という手話になります。

12 ページに紹介していま
す。